



報 告 書

wrun.jp



ごあいさつ

世界ではまだ1日830人の女性が妊娠・出産が原因で命を落としています。祝福されるべき出産を迎えて、自分が死ぬかもしれないという恐怖を払拭できない多くの女性たちがいるのです。

出産を「川を渡る」とたとえる女性たち、分娩台の上から自分の靴を眺め、再びその靴を履くことができるかと怯える女性たち、子どもたちにもう会えないかもしれないと別れを告げて出産に向かう女性たち。こんな女性たちを一人でも減らしたい。安心して出産できる環境を整えたい。次世代を産み出す妊娠や出産が原因で命を落とす女性たちが一人でも少なくなりますように。世界中の女性が健康でいられますように。この想いがホワイトリボンランを生みました。

初めての試みのホワイトリボンランが成功裡に終了できましたのは、関係者の皆さまの温かい励ましと、ご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

世界中の国が合意した2015年～2030年の持続可能な開発目標は、人間と地球の命を守りながら希望のある世界を次の世代に受け渡すことを目的としています。ジョイセフは今後も世界女性デー記念として実施するホワイトリボンランを通じ、広く日本そして世界に女性の健康と命を守る闘いへの参加を呼びかけてまいります。

来年もぜひホワイトリボンランにご参加・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

公益財団法人ジョイセフ
代表理事・理事長

石井澄江

開催目的

世界では毎日約830人の女性が妊娠・出産・中絶が原因で命を落としています。

この世界の現状を知ってもらうために「WHITE RIBBON RUN」を開催しました。

国際女性デー直前にメイン会場だけでなく、世界中でお揃いの大会公式Tシャツを着て走る。

そしてTシャツを着て走っている自分の写真を大会サイトに投稿する。

アクションの連鎖を引き起こすことが、女性の命を守る支援につながることを目的としています。

3月8日の国際女性デーに向けたアクション。
日本全国・世界中を巻き込むチャリティランで、
世界中の女性のために走る。

同じTシャツを着て走る。
そこから生まれる連帯感で支援の輪を広げる。
世界で最も健康に長く生きる日本から、
走ってできることを発信していくことを目的としています。





ホワイトリボン運動とは



開発途上国の女性が妊娠・出産すること。それは、日本では考えられない高い死亡率と隣り合わせのできごとです。いま、途上国では、多くの女性が妊娠・出産によって命を落とし、新たな道、夢、そして未来が奪われています。栄養失調や栄養不足、劣悪な衛生面、技術と知識のある助産師の不足、保健医療サービスの欠如、数多く広がる無医村、古い因習・・・。

途上国のお母さんや赤ちゃんの命を救うため、ホワイトリボン運動がスタートしました。

1999年、ホワイトリボン・アライアンス(WRA)が設立され、現在では世界155カ国の人々が、ホワイトリボンの名のもとに集い、世界中の女性が安全に妊娠・出産を迎える世界を目指して、草の根の支援活動を行っています。

白いリボンには、妊娠や出産によって亡くなった女性たちへの哀悼の意が込められています。またある文化では「希望や命の芽吹き」を表わしています。

ホワイトリボンは、女性たちの魂を悼み、その悲しみを乗り越えて明日へと希望をつなげる運動の象徴です。日本に暮らす私たちの中にも、白いリボンを結び、ひとりひとりがその一端を次につないでいくことで、ホワイトリボン運動を日本中に広げていきたいと願っています。

ジョイセフとは



途上国での妊産婦と女性を守る

ジョイセフ(公益財団法人)は、女性のいのちと健康を守るために活動している日本生まれの国際協力NGOです。戦後の日本が実践してきた家族計画・母子保健の分野での経験やノウハウを途上国に移転してほしいという国際的な要望を受け、1968年に設立されました。国連、国際機関、現地NGOや地域住民と連携し、アジアやアフリカで、保健分野の人材養成、物資支援、プロジェクトを通して生活向上等の支援を行っています。



〒162-0843

東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

TEL 03-3268-5875

URL www.joicfp.or.jp

ジョイセフ

検索

ゲストランナー紹介



オードリー亜谷香

モデル

雨が心配されたランの当日は、世界を良くするために走ろうと集まつたたくさんの人たちの強い意志の力で、素晴らしい日になりました。国際女性デーを象徴するミモザの花。すべての女性が輝くために。素敵な体験企画もたくさん用意されていました。特に心を打たれたのは、世界各地から届いたランの中継映像です。日本だけでなく、世界のみんなが思いを一つにしていることを示しました。今回のイベント開催がきっかけとなり、来年、そして将来、より多くの女性がランに参加し、国際女性デーの本当の意味がたくさんの人々に伝わりますように。

What started off as a gloomy rainy March plagued forecast turned into an impactful and meaningful day filled with people running for intentions to better the world. The event itself was beautiful planned down to mimosa flowers, a symbol for International Women's Day. Everything was concise and on point! What really set apart the event was the tribute video after the run showing all the runners around the world giving support to the cause. Next year I hope that we can spread the word to more women to join the run and that with each passing year men and women will be aware of the true meaning of International Women's Day!



堂珍 敦子

モデル

世界中の女性の幸せと健康を願い、いろいろな、場所、地域、国から、想いを一つに参加して、とても強く感じました。世界では 800 人の女性が妊娠出産で命を落としていますが、ほぼ同じ人数で走りその数の多さをより実感する事ができました。1 人でも多くの女性達が、妊娠出産において命を落とす事なく毎日を平穡に送れるよう、日本からできること、みんなで共有し、一緒に考えて行きたいとより強く思いました。一人一人ができる事、同じ女性としてできること、みんなで共有し、これからも考え、行動に移していくみたいです。



大葉 ナナコ

バースコーディネーター

今回のホワイトリボンランでは、最年長アクティビストランナーとして、走らせていただきました。世界中の女性が妊娠出産で命を落とすことの無いようにとの祈りを、一步一步に込めました。約 800 人のランで、一日に妊娠出産で亡くなる女性の数が可視化され、悲しみとともに必ず解決したい課題だと意を新たにしました。また走ることが可能な命がある今に、あらためて感謝する機会となりました。

以前、ワシントン D.C. のホワイトリボン・アライアンスを訪ねた際に、先進国も途上国も同じように、ホワイトリボン活動を展開していることに感銘を受けました。日本でもホワイトリボンのミッションを老若男女で果たし、女性のエンパワーメントのためにも今回のチャリティランのイベントが継続できるように貢献を約束いたします。

アクティビストとして、毎年、国際女性デー前の週末は、ホワイトリボンランで未来のために走りたいと思います。

ジョイセフの皆様、ホワイトリボン活動の旗振り役を、今後ともよろしくお願ひいたします。





立野 リカ

モデル

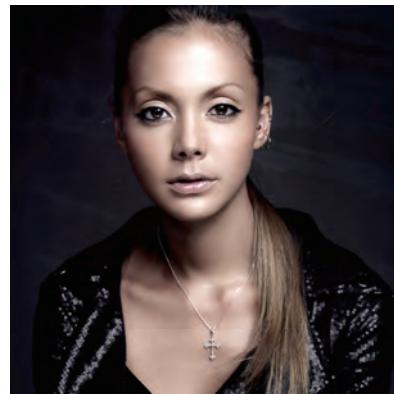
私は今年初めてホワイトリボンランに参加しました！走る事が大好きなので、今回のようなチャリティイベントとして走る事は一生忘れられない思い出になりました。私の一歩一歩がネパールの女性や子供たちにより多くのお金を受け付ける事が出来ると自然にもっと速くもっと楽しく走らないとと思いました。多くの人が集まり、チャリティイベントを通して、心を込めて人を助け合う事はとても大事だと思いました。これからも是非ホワイトリボンランに参加していきたいです！



MINMI

シンガーソングライター

ホワイトリボンランへの参加をきっかけに初めて、世界では妊娠や出産によって毎日 830 人の女性が亡くなっていることを知りました。参加させて頂きありがとうございます。初めてのマラソンに少し不安もあったけど、事務所の女子スタッフ達と一緒に 1 カ月前から週 3 でマラソンを始めて、当日は無事完走＆チーム新記録!! 女性による女性のためのこの運動がたくさんの方に広まっていきますように！



土屋 アンナ

モデル



バーチャルラン ゲストランナー紹介



大橋 マキ

アロマセラピスト



近藤 憧子

フリーアナウンサー



浅利 そのみ

アナウンサー

賛同アクティビスト紹介



大島 花子

歌手



岡本 喜代子

公益社団法人日本助産師会 会長



南野 知恵子

元法務大臣・内閣府特命担当大臣



中村 格子

整形外科医・医学博士



大会概要

大会名称

WHITE RIBBON RUN 2016

開催日

2016年3月6日(日)

種目

5kmラン（タイム計測あり、表彰なし）

バーチャルラン

主催

公益財団法人 ジョイセフ

共催

一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会

助成

IPPF(国際家族計画連盟)

後援

東京都

公益社団法人 日本助産師会

公益社団法人 日本産科婦人科学会

公益社団法人 日本産婦人科医会

公益社団法人 日本母性衛生学会

協賛

 Lactoferrin Lab.

「ラクトフェリンラボ」サラヤ株式会社

 L'Occitane
EN PROVENCE

ロクシタン ジャポン株式会社

 LOTTE

株式会社 ロッテ

協力

一般社団法人 ランガール、GIRL meets GIRL プロジェクト、東京臨海副都心グループ、ライフカード 株式会社、株式会社 リバースプロジェクト、株式会社 ブラウンシュガーファースト、INSOU ホールディングス 株式会社、新麦コレクション、365 日、Run for Smile 株式会社

Special Thanks

株式会社 ポン イマージュ、花王 株式会社、株式会社 コーセー、スペシャライズド・ジャパン合同会社、株式会社 そごう・西武、株式会社 ほけんの時間、公益社団法人 沖縄県看護協会、文京区男女協働子育て支援部、ママとシネマ実行委員会、株式会社 三菱東京 UFJ 銀行、ヴィセラ・ジャパン 株式会社、株式会社 リトル・ママ、株式会社 フジテレビジョン、HiPs、メリコア、モーハウス青山店、nenne、ヴィリーナ ジャパン 株式会社、株式会社 TOKYOEDGE

大会ロゴ



5kmランコースマップ



プログラム

11:00	ランナー受付（～13:30） アトリウム内 ブースオープン
13:00	オープニングセレモニー
13:35	ウォーミングアップ with 大人のラジオ体操
13:50	整列・全体写真撮影
14:00	5キロランスタート
15:00	アフターイベントスタート
15:15	チャリティトークショー
15:40	バーチャルラン紹介
16:15	クロージング

参加賞



ホワイトリボンラン 大会公式 Tシャツ

全ランナー対象

チャリティーピンキーリングを企画している「GIRL meets GIRL プロジェクト」がデザインを手掛け、株式会社リバースプロジェクトと株式会社ポンマックスのご協力で制作。収益は、2つの会社が立ち上げた、「WORK 4 BANGLA」を通してバングラデシュの社会改善活動に充てられます。



伊勢谷 友介

株式会社
リバースプロジェクト代表

今回WHITE RIBBON RUNのオリジナルTシャツは「WORK4 BANGLA」のプロジェクトのもと守られた環境下でバングラデシュの女性たちの手によってつくれられ、売り上げの一部が少女たちの教育支援に役立てられています。我々のWOMAN EMPOWERMENTへの思いは一緒。世界中の女性たちが健康的に輝ける世界の実現のために!

お土産

5kmランナー対象



ホワイトリボンラン 限定パン

5kmランナー対象

安全で美味しい小麦の未来を目指すプロジェクト「新麦コレクション」理事の、365日(代々木八幡) 杉窪章匡シェフが、ランに参加する女性ランナーのために、“カラダとココロにやさしい”オリジナルパンを開発。メイン会場のお台場を走るランナー全員に1つずつプレゼントしました。



杉窪 章匡

新麦コレクション 理事
365日シェフ

ランナーにとって嬉しいたっぷりの栄養素材を、おいしいパンに仕上げています。

形は、WHITE RIBBON RUNに参加する女性の気持ちと途上国の女性の気持ちが結ばれるイメージで、一本の線でできた、永遠に続くハート型です。

3月6日、想いのたすきが全国のランナーから世界の女性へつながりますように。

完走証



5kmランナーのためにご寄贈いただいた商品と協賛企業様

サラヤ株式会社	ラクトフェリンラボお試し実感セット
ロクシタンジャポン株式会社	シャンプー&コンディショナー
ロッテ株式会社	ロッテガーナミルクチョコレート
花王株式会社	Bioreさらさらパウダーシート
INSOUホールディングス 株式会社	ナチュラルミネラルウォーター「涼音」
株式会社ブラウンシュガーファースト	Cocofina有機ココナッツバー

イベントコンテンツ紹介

ビューティーヴィレッジ

カラダの外から綺麗になるビューティーヴィレッジでは、ヘアメイクアップアーティストの長井かおりさんによる、最新スポーツメイクのデモンストレーション、コスメを自由にお試しいただけるフリーテストのコーナーやプロのヘアメイクさんにメイクのタッチアップをもらえるサービスを用意しました。



ヘルスヴィレッジ

カラダの中から健康を考えるヘルスヴィレッジでは、血管年齢、骨密度、貧血検査、姿勢チェック、理学療法士である今井俊太先生によるボディレクチャー、そして「新女子カテスト」ブースを用意しました。



ブースエリア

フォトブース

ホワイトリボンをイメージしたロゼッタで囲まれたフォトブース



ジョイセフチャリティーショップ

チャリティーショップでは5周年記念チャリティーピンキーリングのほか、ホワイトリボンバッジや売上げの一部がホワイトリボン活動に寄付されるチャリティアイテムを販売しました。

シューケアセット(3種)

株式会社R&Dの女性社員が立ち上げた「靴磨き女子部」がプロデュースした商品。



ホワイトリボンカード(ライフカード株式会社)

「ジョイセフ WHITE RIBBON カード」に入会するだけで世界中の女性支援につながるICチップ付クレジットカードの紹介。入会金無料・年会費永久無料のクレジットカードです。WHITE RIBBON カード会員に申し込むと利用額の0.5%に相当する寄付金が、ライフカード株式会社よりジョイセフの女性支援に寄付されます。



365日(ホワイトリボンラン 限定パン)

代々木八幡にある365日杉窯シェフが開発したホワイトリボンラン 限定パンを、メイン会場の5キロを完走後配布。



オープニングセレモニー



ウォーミングアップ



5キロラン



チャリティートーク





世界各国で広がったバーチャルラン（写真・動画を送ってくださった皆さん）



エントリー費(全額寄附)の内訳

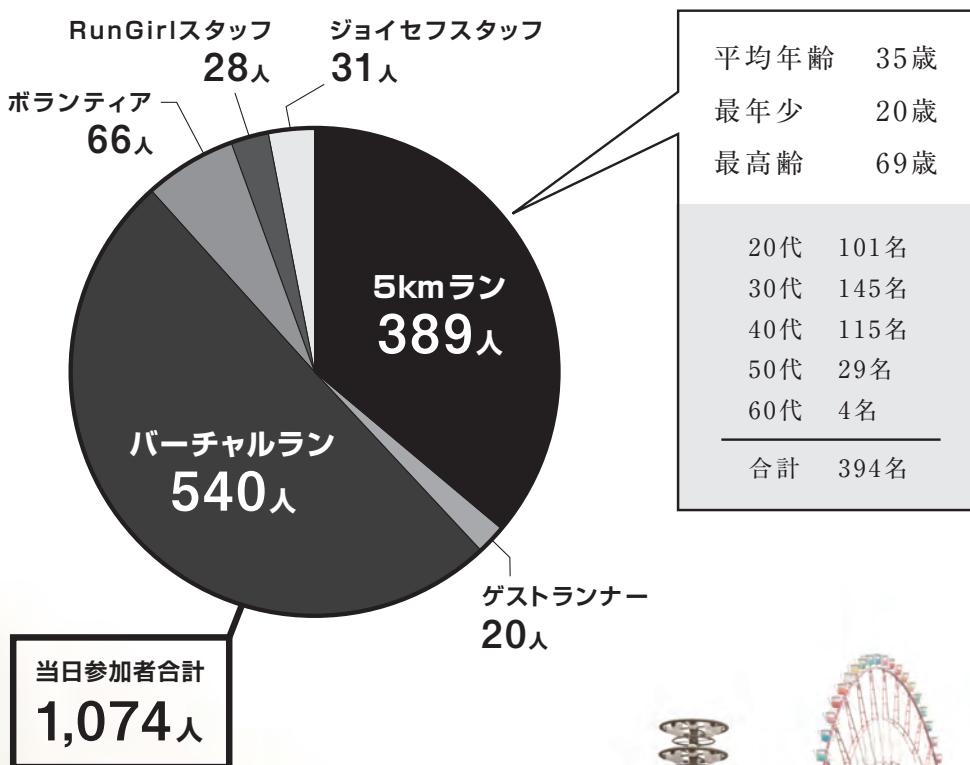
エントリー費と寄附

5kmラン (5500円)	2,139,500円
バーチャルラン (2500円)	1,350,000円
寄附金	1,138,000円
	4,627,500円

寄附先(内訳)

ネパール	3,000,000円
ガーナ	800,000円
ザンビア	800,000円
経費	27,500円

参加者(1074名)の内訳



チャリティについて



ネパール 地震被災女性支援

ネパールの地震被災地が、いまだ復興の目処が立たない理由の一つに、ネパール内の政治的な問題があります。2015年4月の震災後、8カ月経った12月によくやくネパールの政府が復興庁を設立しましたが、その後数カ月経った今も瓦礫の山があちこち点在し、破れたテントの仮設住宅に暮らす被災者も多い現状です。それに加え、約5カ月続いていたインドとの国境封鎖による燃油危機が、ネパールの被災者たちにさらなる追い討ちをかけています。移動手段の燃油の価格が高騰するばかりでなく、家庭で調理用に使用するガスボンベも高騰して購入できなくなった人も多く、調理のために多くの女性たちは薪を拾ってこなくてはならなくなりました。さらに、医薬品もインドから輸入できにくい状態で、町の診療所に行っても十分なサービスが受けることができません。この状況下で、ジョイセフは被災女性・妊娠婦を対象とした巡回診療サービスを行っています。

巡回診療サービスのカウンセリングに来訪するのは、夫や父親、親族からの暴力に悩む女性たちも少なくありません。ネパールには、震災の前から、月経不淨の慣習、女性蔑視、男女間の暴力、人身売買など、女性をとりまく様々な課題が根強く残っています。そのため今、若い女性たちへの教育、ケア、サービスの不足が課題となっています。そこで、今回のホワイトリボンランによる支援では、地震で全壊したユースセンターを再建する資金に活用します。ユースセンターで活動するピアエデュケーターたちによる月経教育や性教育、人身売買禁止に向けた啓発活動が、ネパールの女性の命、健康のために重要な役割を果たしています。ピアエデュケーターの若者たちの活動拠点を早急に再建し、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの教育・サービスを若い女性や男性に届けます。

ザンビア、ガーナの女性支援

ジョイセフが活動する、ザンビアのコッパーベルト州マサイティ郡とムポングウェ郡で、今、最も大きな課題としてあがっているのが、十代の若年妊娠や望まない妊娠です。

ジョイセフは、若者に向けた啓発教育活動を強化するため、2015年この地域の3つの地区の若者60名をピアエデュケーターとして育成しました。彼らがHIVを含む性感染症、身体の発達、月経教育、妊娠や出産なども含む性教育やライフスキルについて学び、人生の目標を立てることにより若者を取り巻く課題を解決していく生きる力を習得する手法を身につけることで、この地域の10代の若者への知識普及、望まない妊娠の削減を目指しています。ホワイトリボンランの支援では、このピアエデュケーター60名が継続して地域で活動できるよう、さらなる若者自身のスキルアップと女の子のエンパワーメントにフォーカスした研修を実施します。

また、西アフリカのガーナでは、南東部にあるイースタン州コウ・イースト郡ヴォルタ川流域地区で、ジョイセフは、中核となる保健センターと、周辺の遠隔地の4カ村で診療所を設営し、妊娠婦や若い女性を中心に質の良い保健医療サービスと保健教育を提供する活動を続けています。この地区的インフラは未整備なところが多く、診療所には水道がありません。雨季に雨水を貯めて利用していますが、現在あるタンクだけでは、乾季には水が底をつく状態です。貧しい村の人々に経済的負担をかけず、年間を通して水を確保することが課題です。このホワイトリボンランの支援で、水タンクを2台設置し、保健サービスを必要とするすべての人が質の良いサービスを受けられる環境を整備します。

ホワイトリボンラン企画者紹介



ジョイセフ 市民社会連携グループ長
小野 美智代
Michiyo Ono

自分のために。誰かのために。走ろう。

昨年の3月の国際女性デーは、育児休業中だった私が、とっさに思い立って、Facebookで呼びかけた「バーチャルラン」。地元静岡でいつものジョグ仲間と、岩手から、福岡から、大阪から、サンパウロから、ロサンゼルスから総勢約30名の仲間が同時に走って、バーチャルでつながったあの日。女性たちが走る笑顔の連鎖に、ただならぬパワーを実感し、これだ!と確信しました。「世界中の女性のために走るマラソン大会」。毎年3月8日国際女性デーを大切にしてきたジョイセフだからこそ、この日を記念して開催したい!と起案しました。そして、一般社団法人ランガールに協力のお願いをしたのが、職場復帰最初の仕事となりました(笑)“走るパワーで毎日を豊かに”をテーマに活動し、東日本大震災以降にジョイセフに5年間継続寄付をしてくださったランガールなら、私たちの想いを実現に導いてくださるはず!と、そこに迷いはありませんでした。

おかげさまで、WHITE RIBBON RUN 2016は、元気に誕生し、949名のランナーと100名の有志ボランティア、そしてサポートしてくださった方々から、多くの共感と賛同を得ることができました。心より感謝申し上げます。

来年も、そのまた来年も、国際女性デー前にWHITE RIBBON RUNを開催します。多くの人に愛され、またのびやかに育つよう尽力してまいりますので、一層のご支援をお願いいたします。



「走る女性のパワーで毎日を豊かに」をテーマに活動する一般社団法人ランガールとジョイセフとの出会いは2011年。

東日本大震災被災地の妊産婦を支援されていたジョイセフに、私たちが主催する大会「ランガール★ナイト」からの寄付金を託したことがきっかけで、以来5年間、大会からのチャリティ先とさせていただきました。このようなご縁から、今回のWHITE RIBBON RUNの立ち上げをお手伝いすることとなり、無事開催できたことを本当に嬉しく思います。世界中の女性の健康を願って走った日。誰かのために走るって素晴らしい!参加された方の輝く笑顔を見て、強く実感しました。長く愛される大会になることを願っています。

ランガール代表理事 宇田川 佳子 Yoshiko Udagawa

1974年東京生まれ。大学卒業後、旅行会社勤務を経て、11年間インポートのファッションブランドのPRに携わる。2010年3月にメディア・ファッション・ビューティー業界の女性ランナー集団「RunGirl (ランガール)」を結成。同年9月、今までない女性の視点に立ったランニング大会「ランガール★ナイト」を主催、実行委員長を務め、2016年9月3日に第7回大会を開催予定。現在は一般社団法人ランガール代表理事を務めるほか、フリーランスPRとしても活動。二児の母。

助成団体紹介

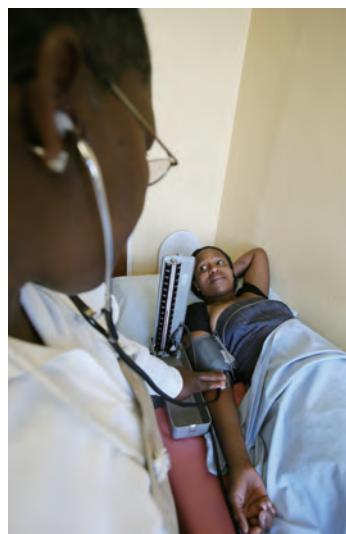


International
Planned Parenthood
Federation (国際家族計画連盟)

国際家族計画連盟(IPPF)は、世界172か国で活動しています。社会的に最も脆弱な立場にある女性や、若者が、生死を左右するサービスやプログラムにアクセスでき、尊厳をもって生きていけるようにエンパワーアーしています。

何百万人ものボランティアと3万人以上のスタッフに支えられ、国際家族計画連盟の加盟協会は、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスに関する情報や教育、サービスを、世界65,000カ所に及ぶサービス地点で提供しています。サービスの内容には、家族計画、中絶、母子保健、STI(性感染症)やHIVの予防、治療、ケアを含みます。

毎年、IPPFの加盟協会は、何百万という貧困層や脆弱な人々が、安全でない出産・セクス・中絶、性感染症に起因する病気、HIVにつきまとうステigma(社会的汚名)や差別を予防できるよう活動しています。そして力を合わせ、地域・国・世界の政策が、基本的人権であるセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスへの権利を保障するように闘っています。



大会公式サイト

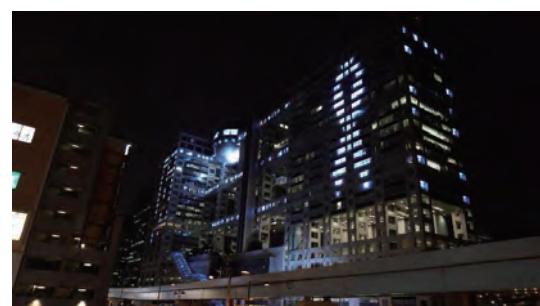
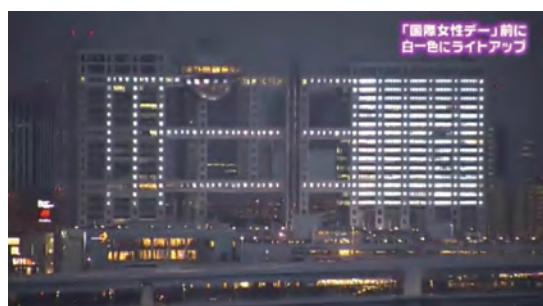


大会公式パンフレット



メディア掲載 - TV

FNN「みんなのニュース」



WHITE RIBBON RUN 2016大会の夜、お台場のフジテレビが白いリボンに点灯されました。

メディア掲載 - ラジオ

FM FUJI 水曜日 「Yes ! Morning」「Doトレ」

メディア掲載 - WEBサイト

mi-mollet NEWS FLASH Fashion Beauty Lifestyle

走ることで世界の女性の元気をサポート！
「WHITE RIBBON RUN 2016」を走ろう

ホワイトリボンってご存じですか？妊娠・出産・中絶が原因で命を落す女性はなんと世界で1日あたり800人。その現状を知りてもらい支援するのがホワイトリボン活動なんですね。

800人の女性ランナーがそのメッセージを我慢する「WHITE RIBBON RUN 2016」が毎年の3月6日に開催されます。みんなでおそろいの青つなぎで走る女性たちの姿は有明、お台場の多くの千の芝生、モデルの豊嶽子さんやオードリーリー吉田さんなど、各界で活躍する女性たちが参加します。

レース会場に向かうごとに嬉しいでも、世界のどこでもバーチャルランナーとして参加できるのが画期的。また寄付されるのは参加費の一部といいイベントが多い中、意外の団体からの寄合金団体・企業よりより寄附金額がチャリティだ。支障金は国際協力NGOジョイセフを通じて途上国の女性支援に活用されます。

mi-mollet 2015年12月7日

© 2015.12.22 10:50
『WHITE RIBBON RUN 2016』みんなでお台場ランニング！800名チャリティ・ファンラン大会



マイナビウーマン 2015年12月30日

WHITE RIBBON RUN 2016

走ることで世界の女性の命と健康を守るために活動している国際協力NGOジョイセフによるチャリティラン。大会が、毎年3月6日に開催されている途上国での女性の命と健康を守るために活動する国際協力NGOジョイセフによるチャリティラン。今年は、東京・お台場の千の芝生で開催され、800人の中学生ランナーがランニング、また、土屋アンナやVIVIなどモデルの宮原千尋、吉田羊子(ジョイセフ)のオーナーなども走る予定だ。

TimeOut Tokyo 2016年1月18日



WHITE RIBBON RUN 2016

次は、どの道を走ろう。

3月6日(日) 開催！「WHITE RIBBON RUN 2016」

新着記事

Runtrip Magazine 2015年1月23日

女性限定のファンランイベント「WHITE RIBBON RUN 2016」

走ることで世界の女性を応援！『WHITE RIBBON RUN 2016』が国際女性デー（毎年3月8日）に開催されます。

この「WHITE RIBBON RUN」は世界で毎日何人の女性が妊娠・出産・中絶により命を落としている現状を変えるべく生まれたものです。イベント当日にはメイン会場の有明・お台場だけ

onyourmark 2016年1月25日

走ることで世界の女性を応援！『WHITE RIBBON RUN 2016』エントリー受付中☆

2015.01.26

ホワイトリボンを知っていますか？世界中の妊娠率の命と健康を守るシンボルで、社説や会場・中継に加えて多くの女性たちが、自分の事がござらているんです。そして私たちも、この活動に参加できるイベントがあるんですよ！それが、コト(日)に開催される「WHITE RIBBON RUN 2016」。この参加エントリー費をすべて途上国の女性支援活動に活用するんですね♪

つまり、私たちが走ることが世界の女性を救える力になるということ。メイン会場の有明・お台場ラン(参加費￥5500)のほかにも、全国バーチャルラン(参加費￥2500)も実施！日本中のどこにいても、この「WHITE RIBBON RUN 2016」に参加しながら、好きなコースを走れるんです!

ヨーロッパへの旅は、北欧スタイルの翼で

DAILY MORE 2016年1月26日

Shoes Post

HOME 会社案内 営業のおしおり 見本帳のおしおり 記念品

HOME > 雑誌 > Shoes Post (スニーカー・スニーカー専門誌)

最新情報 スニーカー スポーツ シュニング ウォーキング アウトドア

紳士婦人 カジュアル 子ども 靴用品 ショップ その他

【ランニング】
チャリティ・ファンラン大会「WHITE RIBBONRUN 2016」が9月30日開催

2月12日までエントリー受付

近畿圏の女性と女性の健康を守るために活動している団体、(一財)近畿圏女性の力(ヨコハマ市・東京・横浜・名古屋)は、3月12日(日)開催の女性専門の音楽イベント「チャリティ・ファンラン大会」WHITE RIBBONRUN 2016を開催する。

WHITE RIBBONRUNは、年間500回の開催地で、全国・中高・小学生を中心に走っている熱意の精神をもたらす走り方の「走り」を駆け抜けない、走る文化の発信地。ランニングをしたダメージを、Tシャツで見ていて、走る女性を走る女性方に寄り添うことで「アーチカル」の連鎖を生み出す。女性の今守る覚悟につなげること目的の開催に向けていく。

種目は、メンズ優勝賞金20万円・ヨコハマ市特別賞10万円・女性優勝賞金10万円・参加賞など。会場は、上記の開催地で、主に1~3歳児のための健やかな運動空間。

「ヨコハマ市では星」をテーマに、MERY RIBBONの宣伝部屋さん、山根選手モデルのオーデリーリング等のアグレッシブなアートで、運営。800名の参加者と交流。また、東京・大阪・ヨコハマの人気歌手・タレントによる音楽パフォーマンスや、女性の健やかな走る姿をテーマにした300人のカラリストによるカラーリング(オーラカラーナビ)企画に注目。また、特典として参加登録料金が通常料金半額になります。

【大会概要】

- 大会名: WHITE RIBBONRUN 2016
- 開催日: 2016年3月12日(日)
- 会場: ヨコハマ市立総合公園(ヨコハマ市)、横浜市立総合公園(横浜市)、東京・豊島区立総合公園(東京都)
- 種目: 小学生以下の男女の「バーニャカウダ(筋力・持久性)競走」
- 参加料: 小学生無料、2月12日(木曜)まで ¥500(税別)待ちなし。
- 参加料: オーラカラーナビ(カラーリング)、アーチカル(健やか走る)、MERY RIBBON(ヨコハマ市)のみ。
- 大会公式HP <http://www.p-r.jp>

ジューに進む
Shoes Post 4月12日発行

最新号は既に販売中!
新規会員登録で
お届けする

Shoes Post
Facebook Page

Shoes Post 2016年1月26日

Numero Tokyo 2016年2月9日

The image is a screenshot of the AneCan.TV website. At the top, there's a navigation bar with links like SHOGAKUSAN, Home, About, My..., Donor, Photo, Details, and a search bar. The main header features the site's name 'AneCan.TV' in a large, stylized font, followed by 'FASHION NEWS / BEAUTY TIPS CURATOR'S LIFESTYLE / EDITOR'S PICK From ALL OVER THE WORLD'. Below the header is a banner with a woman's face and the word 'GLAM'. The page is filled with various news articles, each with a thumbnail image, title, and a brief description. There are also sections for 'AneCan本誌' (AneCan Magazine), 'AneCanニュース' (AneCan News), and 'AneCan.TV' (AneCan TV). On the right side, there's a sidebar with social media links and a 'GLAM' section featuring a woman in a hat.

AneCan TV 2016年1月19日-2016年3月8日

ozmall 2016年2月9日

by.S 2016年2月12日

河北新報 2016年5月2日

ホワイトリボンラン 2016 報告書

ホワイトリボンラン事務局（ジョイセフ内）
〒162-0843
東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
TEL 03-3268-5875 FAX 03-3235-7090

2016年5月10日発行
発行人：公益財団法人ジョイセフ